# 新潟教育研究所

令和3年6月3日発行 第 47 号

公益財団法人 新潟教育会 新潟教育研究所

〒951-8104

新潟市中央区西大畑町590-3 新潟教育会館 URL http://kyouikukai.jp

TEL·FAX 025-222-2971 E-mail kenkyujo@kyouikukai.jp

# 教員養成の報告と 先生方へのお願い

大阪から鎌倉に移ってきて8年が過ぎました。 鎌倉には、大仏や鶴岡八幡宮や長谷寺や小町涌り 以外にも、円覚寺の石仏群、浄智寺から銭洗弁天 に通じる山道、報国寺の竹林、紅葉の瑞泉寺など 趣のある場所が多数あります。現任校でも教員養 成の仕事をしています。私が学生に育みたいもの は、実践の意図を説明できる力量です。

2020年度の授業はほとんどがオンラインでした。 同僚にはチャットを使ったグループワークや Zoomによるテレビ会議方式等のリアルタイム型 オンライン授業を採用した教員もいましたが、私 は、履修者数・学習内容・履修者と私のICTス キル・環境などを考え、オンデマンド型で行いま した。音声解説つきのスライドショー動画を作成 して. クラウド型授業支援システムmanabaで配 信する毎日でした。職場の会議、学会、年度末に 毎年参加している3つの研修会は全てオンライン での開催となりました。

ゼミナールの卒論指導は対面で行いました。 2020年度、私のゼミナールの4年生は9人でした。 学生は自らテーマを設定し, 先行研究を踏まえて, 自分なりの方法で追究しました。ある学生は、同 じ事実を「研究者の理論的・一般的視点」と「現 場の教員や保育者の実践的・具体的視点しという 異なる2つの視点から検討しました。また別の学 生は、国や様々な機関等から提唱された諸能力に ついて「縦軸:専門性重視か基礎学力重視か」、「横 軸:社会参加・職務遂行か人格形成・内面充実か」

## 鎌倉女子大学 神林信之



を設定して図式化することを通して新たな知見を 得ました。

さて、身の回りには相反する事柄がほぼ同等の 価値をもつことがよくあります。林檎栽培のある 名人は葉を落とさないことが、別の名人は葉を落 とすことが大切だと言います。肉を焼くある熟達 者は強火が必須だと述べ、別の熟達者は弱火でと 言います。教育においても対立する教材構成が同 じ位うまくいきそうな例が随所に見られます。平 面図形の面積学習で平行四辺形を先にする場合と 三角形を先にする場合、二次方程式の解き方学習 で平方完成を先にする場合と因数分解を先にする 場合などです。現象の解釈や授業前後の検討の際 に使用される理論や枠組みも一つとは限りません。 数学科の教材系統分析で、「接続の3類型」を使 う教員もいますし、別な方法で行う教員もいます。 あるコミュニケーションの事例を、教育学のモデ ルで解釈する人もいるでしょうし、社会学の理論 で意味付ける人もいるでしょう。

先の9人は4年間の大学での学習、学外実習、 卒業論文執筆等を通して、実践の意図を説明でき る力量をある程度は身に付けてきましたが、まだ 不十分と言わざるを得ません。校長先生はじめ諸 先生方や教育行政のみなさま、どうか機会を捉え て若手教員に対し、実践の意図、その教材を選択 してそのように配列した意図、その働き掛けが優 れている理由等を教えたり、一緒に考えたりして いただければ幸いです。

# 幼稚園・保育所・認定こども園での学び

新潟教育研究所 教育アドバイザー

## 畠山典子



#### はじめに

子どもがどのような学びをして小学校に入学してくるかを理解して1年生の教育に携わることは、幼保小接続のとても大切なポイントと考える。

私はこれまで小学校、幼稚園に勤務し、現在は 新潟市の児童センターに勤務の傍ら幼児教育の専 門学校で講師をしている。これらの経験を通した 就学前の子どもの学びについて述べる。

#### 1 幼稚園、保育所、認定こども園について

現在,特に母親の就業が多くなってきている状況の中,幼稚園が減少傾向にあり,認定こども園(以下「こども園」)が徐々に増加し,保育所の待機児童の問題が取り沙汰されている。子どもは皆が小学校・中学校で学んでいくが,幼児期は保護者が選んだ幼稚園・保育所・こども園等でそれぞれ生活する。私は,幼稚園勤務のとき,どこで生活しても,子どもにとっての学びは平等に保障されなくてはならないと強く感じていた。小学校の円滑な接続に繋がっていくことでもある。

平成29年の保育所保育指針の改定により、幼児期における教育は、幼稚園・保育所・こども園の共通事項となった。それはいわば「遊びを通した主体的活動」からの学びである。

次に、私が勤務した新潟市立幼稚園での「遊び を通した主体的活動」からの学びついて述べる。

#### 2 「遊びを通した主体的活動」からの学び

年長児の子ども たちが砂場で遊ん でいる。(写真) 担任はねらいをも とにバケツ,台,



雨どいなどを近くに置いておく。

砂で山を作ったり、道を作ったりしていた子どもたちは、山の上から水を流そうということになった。最初ペットボトルに水を入れて流していた

が、もっとたくさん水を流した方がいいということになりバケツに水を入れて流した。しかし、すぐ砂に水が吸い込まれてしまったので、山を固めたり道をしっかり作ったりし直した。それでも水が吸い込まれてしまうため、水を流すための雨どいを用いて流した。すると山が崩れたので傾斜をつけるための台を持ち出してきて、そこに雨どいを掛けて流した。その後、雨どいの傾斜によって水の流れの速さが違うことに気づいて楽しんでいった子どもたちである。担任は、子どもたちが自ら遊びを展開していくために、適切な働きかけをしていった。

子どもたちは、遊びの中で「砂を感じる」「気付く」「友達とかかわる」「友達に話す」「友達に説明する」「アイディアを出し合う」「順番に行う」「互いに観察する」「意見が対立する」「葛藤する」「協力する」「片づけをする」などを行っている。このように子どもは、遊びを通した主体的な活動から学び、総合的に発達していき、幼児教育において育みたい資質・能力が身に付いていくのである。担任は、子どもが安定した中で、興味や関心のある環境とかかわり、十分に活動し、充実感

#### 終わりに

年少児がみんなと一緒にお座りをして先生の話をしっかり聞いている姿を見て感動したことを思い出す。年中児,年長児になるにつれて,さらに自信をもったたくましい姿になっていく。

や満足感を味わえるようにするのである。

子どもにとって遊びは生活そのものであると言われている。この子どもの学びを小学校へ繋げていくことが、円滑な接続となっていく。そのためには、幼保小接続担当の職員だけでなく、一人一人の職員が幼稚園や保育所、こども園での子どもの生活や学びに関心をもち、繋げていこうとする姿勢をもち、繋げていくことが大切である。

## 和

### 新潟教育研究所 研究員 宮川由美子



#### はじめに

神戸に住む70歳を超えた叔母からのメールによ ると、看護師免許を持つ叔母は、コロナワクチン 接種のための動員がかけられたとのこと。医師で ある叔父は、休日返上で連日ワクチン接種に忙殺 されているという。そんな二人でも、 叔父がやっ と一回目の接種を受け、叔母は予約が完了した段 階。日本、どうなっている?

#### 1 令和の子どもたち

「先生タブレットやっていい? | 5限の書写の 授業後半そろそろ飽きてきた頃。特別支援学級2 年生女児が問うた。許可すると慣れた様子で様々 な画面を立ち上げる。ドラムとシンバルがリズム を刻むのに興味を持ったらしく. 速さを変化させ たり強弱をつけたりしている。もう一人の男児も 傍で眺めながら、しきりにちょっかいを出してい る。二人とも指の動きが優雅!

午前中の高学年の音楽の時間。教科書の目次か ら「知っている曲や好きな曲ある?」意外な反応 が返ってきた。「こいのぼり」「ふるさと」。ピア ノでメロディを弾いたら一緒に歌い出した。6年 生は「校歌」を歌ってくれた。私が合唱の研修に 燃えていた遙か昔「高学年が自分の学校の校歌を 声高らかに歌う学校はいい学校です。」講師の先 生のお話はいまだ心に残る。

「タブレット」と「唱歌」、時代の隔たりに線を 引いているのは大人(私)だけかもしれない。週に 一日だけの学ボラ、令和の子どもたちガンバ!

#### 2 令和の先生たち

春先は多くの先生方が新しい環境に身を置いて いる。ただでさえ不慣れなところへ、時代はIC Tへとまっしぐら。落ち込む先生もいるだろう。 東日本大震災のボランティアさんが言っている。

「逆境に強いのは自分の状況にむやみに抵抗しな い人。さっさと諦めて次の手を考える。マイナス の感情で抗っていると自分で自分に疲れてしま

う。」耳が痛い。私は後者だ。

真面目な頑張り屋さんほど「このやり方は違 う」と疑問をもつと何とかせずにはいられない。 エッセイストの平松洋子さんの言葉を届けたい。

「目前の状況を受け容れること、なりゆきに身を 添わせることは決して弱気な態度ではない。いや がおうでも受け入れなければものごとが進んでい かないときは、自分の流儀を盾にして拒むより、 むしろ状況に合わせる方が手っ取り早いし. 余計 な軋轢がすくない。ただし、かたくなに拒むより、 あらたに受け容れるほうがじつはタフな精神を必 要とするのだけれど。

新しい環境で3月までとは違うやり方の教育活 動、引いてだめなら押してみるのも手かも。

#### 3 令和の家庭

「既製品はシャットアウト」堅い守りだった母 も. さすがに歳には勝てず揚げ物や手の込んだ料 理は買い求めるようになった。その拍車をかけた のがコロナ禍による「お持ち帰り」や「お取り寄 せる数年前迄は考えられなかった。

母は7人兄弟姉妹の上から2番目、3月に米寿 を迎えた。長寿の家系らしく長姉の他は皆健在で ある。このご時世では祝宴を開くことも旅行に出 かけることも不可能。近所に住む母の一番仲のい い妹を招き, 家族だけで少々豪華な会席弁当を 「お持ち帰り」し祝った。話題は「家族葬」。何 故か、しんみりすることなく、むしろ大いに盛り 上がり、夜が更けていった。

#### おわりに

5月2日付けの「市報にいがた」にコロナワク チン接種に関する情報が掲載された。それに沿っ てインターネットで調べたら、88歳の母のかかり つけの医院ではだめなので地域の集団接種に予約 するしかない。しかし、念のためにその医院に問 い合わせたら、やってくれるという。コロナワク チン接種、どうなっている?

## Support, Information & Opinion

# S. I. O. の充実をめざします

#### 第13回教師力アップ講座

ウイズコロナが続く中ですが、上記の講座は、是 非、実施したいと考えています。状況によっては、 期日変更も含めて対応して参ります。別紙「教師力 アップ講座」の案内状をご覧の上、お申し込みくだ さい。なお、HPからも申し込み可能です。

- ●日時 令和3年7月25日(日)午前9時45分~
- ●会場 新潟教育会館(新潟市西大畑町590-3)
- ●内容

#### 第1講座

「特別な支援が必要な子がいる



学級経営・学習指導 その2 ~UDLの考え方を取り入れて~」 講師 古田島恵津子 様 加茂市立加茂西小学校 校長

第2講座 「ICT教育に求められていること



〜情報活用能力の育成の 実現に向けて〜」 講師 高橋 恒彦様

講師 高橋 恒彦 様 新潟大学 教職支援センター 特任教授

#### 教育アドバイザー派遣事業の推進

教育アドバイザー 派遣事業は、要請に 応じて登録いただい ている教育アドバイ ザーを派遣し、学校



及び先生方を支援する制度です。校内研修はもちろんですが、授業研究会、PTA講演会、研究サークルへの派遣申請が多く見られます。個人研修の要請にも応じますので、ご利用ください。

教育アドバイザーの選定は、「教育アドバイザーリスト」をご覧ください。12月には、令和3年度登録者を加えた「令和3年度版教育アドバイザーリスト」を送付します。

#### 所報「新潟教育研究所」の発行

6月・12月・3月の年3回発行します。

#### インターネット接続が可能になりました。

会議室・相談室からインターネット接続が可能となりました。講座でのインターネット活用やリモートでの講座や研修も可能です。WiFi 接続に必要な I Dやパスワードは各会場に明示してあります。

# 教育アドバイザーの派遣について

## 要請の仕方

校内研修で、研究会で、PTAの講演会で、研究サークル等で、「あの先生にアドバイスを受けたい、話をしてもらいたい」と思ったら……

1 まず事務局にメールかお電話をください。メールアドレス「jimu@kyouikukai.jp」電 話 番 号「025-222-2971」

招請したい教育アドバイザー, 期日, 内容, 会場, 参加人数等をお知らせください。

- 2 事務局が教育アドバイザーに連絡をとります。
- 3 依頼者に承諾の結果をお知らせします。

- 4 応諾であれば、依頼者が教育アドバイザーに詳細を連絡してください。
  - \* 事前に教育アドバイザーと連絡を取り、 結果を事務局にお知らせいただく形でも 結構です。
  - \* リモート研修も可能です。

#### 派遣経費について

謝金・交通費等は、年度内で連続して同一の教育アドバイザー派遣を要請する場合、初めの1回分だけを 当方が負担します。2回目以降は利用者が負担してく ださい。教育委員会からの要請はご相談ください。